

都市のゴミ処理による環境衛生状態の改善に関する報告

国务院の事務所から都市と農村の建設環境保護部、中央愛国衛生運動委員会
へ転送する『都市のゴミ処理による環境衛生状態の改善に関する報告』の通知
国辦発[1986]57号

各省・自治区・直轄市の人民政府、国务院各部委員会・各直属機構 宛

都市と農村の建設環境保護部、中央愛国衛生運動委員会の『都市のゴミ処理による環境衛生状態の改善に関する報告』は国务院が同意したので、貴方へ転送する。実際状況と結び付けて徹底的に実施されたい。

中国の都市における経済の発展および国民の生活水準の向上に伴い、都市のゴミ問題はますます顕著となり、郊外の農村の環境および農地の汚染は日ごとに深刻となってきた。早急に重要な問題として取り上げなければ、必ず社会的な公害となるであろう。都市のゴミ問題の解決は、清潔で美しい都市の建設や、国民の基本的な生活環境を保護するための重要な条件である。各クラスの人民政府および各関係部門は十分重視し、有効的な措置の採用に着手して、都市のゴミ問題を解決すること。この業務を都市建設の全体計画に組み込み、「2つの文化」および総合的な環境整備を構築する重要な内容として取り組むこと。ゴミを生産から、収集、運搬、処理、リサイクルまで、1つに繋ぎ合わせて着実に実行すること。

各都市は衛生的な埋立て、高温堆肥などの科学的な方法によるゴミ処理を採用し、各機関および個人がゴミをむやみに積み上げること、または捨てることを明文化して禁止すること。同時に、ゴミ、尿尿の無害化処理などの科学研究を大幅に強化すること。ゴミの分類収集の実施を基本として、徐々に資源のリサイクルを発展させ、総合的な利用を行ない、有害を利益に変化させてゴミ問題を適切に解決し、環境衛生状態を一層改善すること。

1986年7月30日

都市のゴミ処理による環境衛生状態の改善に関する報告

国务院 御中

ここ数年、中国の都市のゴミ量は毎年平均10%の速度で増えており、都市のゴミ問題はますます顕著となった。統計によると、昨年全国の300余りの都市における年間ゴミ生産量は5,188万トン、尿尿は3,453万トンとなり、その上、都市の廃品購入場が減ったため、廃品物資が十分リサイクルされず、ゴミの量が増え、処理、処分に関する問題も増えている。

現在、都市の環境衛生状態はある程度の改善があるとはいえ、清潔で、文化的な近代化都市の建設目標にはまだほど遠い。この方面では、法律がまだ不完全で科学研究事業が比較的遅れているため、関係政策がうまくかみ合わないなどの原因の他、主に3つ問題が存在する。

1. 環境衛生の専用車両が不足しており、ゴミはその日のうちに清掃できない。統計によると全国には毎年約1,000万トン余りの都市ゴミ、尿尿があるが、適時に清掃運搬ができていない。
2. ゴミの処分および処理が顕著な問題となっている。以前、都市のゴミ、尿尿のほとんどは農地用肥料としていたが、最近では農民は主に科学肥料を使用している。未処理のゴミおよび尿尿を農地用肥料に使用した場合、汚染を招き疾病を撒き散らして都市や農村住民の健康を脅かすため国民の強い反対を招いている。
3. 都市の環境衛生設備の深刻な不足。ほとんどの都市にはまともなゴミ中継センターがなく、ゴミおよび尿尿の収集、清掃運搬設備についてもつねに需要を満足できていない。

都市のゴミは都市および近郊地域住民の基本的な生活環境保護に対する顕著な問題となっているため、各クラスの政府は十分重視し、確実に解決すること。そこで、以下の意見を述べる。

1. 環境衛生発展計画を制定する。

全体の計画にこの項目内容が欠けている場合、早急に補足制定すること。各都市はゴミおよび尿尿の収集、運搬、野積み、処理、処置などの業務に対し、都市のインフラ建設と結び付けて全面的な計画を作り、徐々に実施すること。ゴミの中継センター、公衆トイレ、ゴミ尿尿処理場、ゴミの埋立て地および環境衛生専用車両のメンテナンス場、駐車場などの環境衛生施設を段階的に改善するか、あるいは建設すること。条件の整った都市はゴミの分類収集の容器化、運搬作業の機械化、廃棄物処理の無害化を徐々に実施すること。都市の環境衛生施設の建設資金は現在のルートを基に、地方政府が解決すること。独立した工業・鉱業地域、開発地域およびその他の独立地域の環境衛生施設は、現地の管理部門あるいは経営機関が責任を持って解決すること。

2. ゴミの発生を減らす。

各都市の具体的な状況に基づき、都市ガス、石油液体ガスおよび集中的な熱供給を積極的に発展させ、石炭の燃焼を主とする燃料構造を徐々に改善して、石炭がらの清掃運搬量を減らすこと。農業、商業においては「無駄な部分を取り除いた野菜の都市への運搬」を発展させ、根や残り葉を農村の現地で処理すること。ゴミの分類収集、運搬を確実にこなうことを基本として、ゴミで煉瓦やコンクリートを生産し、石炭がらの総合利用などの業務をさらに発展させること。廃品回収のリサイクルに力を入れ、廃品回収ネットワーク、加工工場などの施設を都市計画に組み入れること。

3. 中国の国情に合ったゴミ処理技術を採用する。

現在、中国の都市のゴミは可燃成分がわずか 4.9%（アメリカの都市のゴミは可燃成分が平均 40%、日本の東京は 60%である）でしかない。この状況によると、都市のゴミ処理は分類収集を基本として、主に衛生的な埋立てや高温堆肥を行なう方向へ徐々に進んでいる。外国の先進的な経験を吸収し、ゴミの各種処理技術を採用する。ゴミを埋立て処理したあと、土の層をかぶせて緑化を進める。病院のゴミおよびその他機関の有毒、有害廃棄物は必ず単独で収集、運搬し、焼却処理すること。都市の尿尿は下水道の普及に伴い、汚水処理場に流して、統一した処理を行なうようにすること。近い将来においては、汚水処理場に流せない尿尿を独自に収集、運搬し、その土地に適した方法で衛生処理した上農地用肥料として再利用する。

4. 環境衛生専用車両および機械設備を増やす。

見積もりによると、都市人口 1 万人に中型環境衛生車両 2 台（密封式ゴミ運搬車、散水車、バキュームカー、清掃車などを含む）を配備しなければ、都市のゴミの清掃、運搬の問題は解決できない。そうすると、全国では環境衛生専用車両が約 2 万台となるが、現在約半分しかなく、その上大部分が中古車であり、積載量は少なく燃料消費が大きい。中国の都市のゴミ量が毎年増加していることや、徐々に新しい車両に更新する必要があることから、全国では毎年環境衛生専用車両を 2,500 台増やさなければならない。現在、毎年建設部に割当てられる環境衛生専用車両はわずか約 500 台でしかなく、実際の需要を満たすにはほど遠い。そこで、国に今後環境衛生専用車両の割当数量を徐々に増やしていただく以外に、各省、自治区、直轄市および計画単列都市は環境衛生専用車両を自動車割当計画に組み入れ、統一的な計画をたてて徐々に解決すること。

5. 都市のゴミの管理を確実にこなうこと。

都市の環境衛生の保護は清掃を 30%、管理を 70%とすること。現在、全国の百余りの都市は 2 万余人を抱える都市環境衛生監査組織を設立し、都市の外観および環境の衛生に対し大きな作用を及ぼしている。各地では集中的な指導を強化し、同時にクラスを分けた管理を実施し、市、区、大通り、居住委員会の積極性を発揮させ、専門的な組織と大衆とを結び付ける方法を実施して、「門前の 3 つの保証（衛生、緑化、秩序の保証、各職場で門前と所在地域の環境衛生に責任を持つこと）」を引き続き行ない、市場に対する管理を強化すること。各地は現地の実際状況と結び付け、ゴミ管理に関する条例を制定すること。各クラスの愛国衛生運動委員会は関係方面の力を積極的に組織して、都市建設など

の部門と協力して、都市のゴミ、尿尿の無害化処理を行ない、恒常的な衛生の管理を維持して、「4 つの害（ハエ、蚊、鼠、ナンキンムシ）」の発生を制御し、その土地に適した方法で、大衆的な都市衛生活動を展開する。

6. 環境衛生科学研究、教育を強化する。

中国の環境衛生業界における科学研究の基礎はまだ弱いため、早急に強化しなくてはならない。計画的に環境衛生科学研究機構を建設し、力を充実させて、組織的に尿尿、ゴミの無害化および総合利用などの重要課題の研究に取り組むこと。全国の環境衛生科学研究業務と協力して、環境衛生に関する機械設備の設計、製造におけるシステム化および基準化を推し進め、新型のゴミ処理技術および設備を発展させること。外国の技術および専門的な設備サンプル機械を選んで導入する。現在、環境衛生技術者がかなり不足しており、環境衛生業務の需要には対応できていない。早急に人材を育成するために、武漢都市建設学院では都市環境衛生専科の専門学校のクラスを設立した他、関係総合大学と単科大学では、都市の環境衛生専科の、状況に基づいた設立を提案している。条件の整った地方では、環境衛生中等専門学校、技術学校の設立や、環境衛生幹部養成クラスを設立して、環境衛生職員の資質を引き上げるとよい。

7. 環境衛生業界の経費の管理方法を改善する。

従来実施していた事業経費の「統一収入、統一支出（全収入を中央財政部門に収め、必要経費は全額中央より支給する方法）」を「収入に見合った支出」の方法に改め、業務量に応じて経費を計算し、予算内でおさめて、支出の超過時には補充せず、収益を増やし支出は節約して利潤を残す方法を実施すること。このような方法は、社会のゴミ清掃運搬を環境衛生部門が一律に管理していた方法を改善する上で有利にはたらく。各地で徐々に試し、経験の結果をまとめるとよい。

8. 環境衛生職員の生活の福利厚生および作業条件の改善。

環境衛生労働者は一年中ほこり、ゴミ、尿尿に関わっているため、職員の勤勉な労働は社会的に尊重されるべきである。生産の発展および国の財力の可能性に伴い、環境衛生職員および廃品回収、加工職員の給与および生活の福利厚生を徐々に引き上げること。地方政府は環境衛生職員の住宅など実際問題を計画的に解決し、職員の将来的な不安を解決すること。環境衛生作業は環境効果および社会効果を主な目的とすることを鑑みて、各クラス政府は環境衛生部門に特別な配慮を与えてもよい。環境衛生部門において増えた収入は環境事業の発展や職員の集団福利厚生および生活、作業条件の改善に使用し、職員組織の安定および発展に利用すること。同時に思想政治業務も強化して、環境衛生職員の「都市の美容師」としての光栄に思う感情および責任感をたえず高め、「2 つの文化」建設に多大な貢献をされること。

以上の報告に不適切な箇所がなければ承認していただき、各地区、各部門に下達して、徹底的に実施されたい。

都市と農村建設環境保護部

中央愛国衛生運動委員会

1986年4月7日